

松島おひさま保育園の保育目標

✿心身ともに健康な子 ✿思いやりや感謝の気持ちが持てる子 ✿よく見て、よく聞き、よく考え行動できる子

ようやく少しずつ暑さも和らぎ、心地よい秋風が感じられるようになってきました。子ども達も戸外に出でのびのびと遊ぶ姿が見られています。先月は4年ぶりとなる「熟年者交流会」を行い、たくさんの祖父母の皆様にご参加頂きました。子ども達はコマやかかるた、ゲーム、おままごと等いつも保育園で遊んでいる遊びを祖父母の皆様と一緒に楽しみ、ホールには笑顔が溢れほのぼのとした温かい時間となりました。ご協力、ありがとうございました。また、ベナン共和国出身の方をお迎えし行った「わくわくデー」では、異文化に触れ、軽快な音楽に合わせて自然と身体も動き、リズムをとって踊ったり友達と手を繋ぎ輪になって回ったりと思いの表現を楽しむことができました。運動会に向けた取り組みも各クラスで段々と活発になり、走ったり踊ったり思いきり身体を動かして楽しんでいる子ども達。他クラスの競技を見学したり応援したりする微笑ましい姿もあります。これからも楽しみながら運動会当日を迎えたいと思います。

地域ではインフルエンザ等感染症も増えているようです。規則正しい生活を心掛け体調管理に気を付けながら、爽やかな秋を満喫し今月も元気に過ごしていきましょう。



～10月の行事予定～

- 3日(火) チャレンジスポーツ
(3歳・4歳・5歳)
- 4日(水) 健康診断
- 10日(火) 運動会リハーサル
- 17日(火) 運動会リハーサル
- 23日(月) 避難訓練
- 25日(水) 英語遊び(3歳・4歳・5歳)
- 26日(木) さわやか体育祭(5歳)
- 27日(金) おはなしにこにこ(4歳・5歳)
- 28日(土) 運動会予備日



<地域交流>

- おひさま子育てひろば 11日(水)
- 出張☆おひさま子育てひろば 30日(月)
(「松島2丁目公園」で行います。)



<実習関係>

- 10月25日(水)～31日(火)
松江第三中学校 チャレンジ・ザ・ドリーム
(職場体験)

～11月の主な行事予定～

- 2日(木) 遠足(4・5歳)
- 10日(金) 歩き遠足(3歳)
- 15日(水) 法人総合防災訓練

お知らせとお願い

【健康診断について】

- 秋の健康診断を、10月4日(水) 12:30～ 行います。
当日は出来るだけ登園して頂きますよう、ご協力をお願いいたします。

【運動会について】

- 日時：10月21日(土)(予備日：10月28日(土))
- 場所：東小松川おひさま保育園 園庭
- ※詳細は「運動会についてのお知らせ」をご確認ください。
- ※10月10日(火)・17日(火)は、東小松川おひさま保育園にてリハーサルを行う予定です。(登園は通常通りです。)
- ※保護者の皆様へは子ども達への『運動会応援メッセージ』をお願いする予定です。ご協力を宜しくお願いいたします。

【歯科検診について】

- 11月16日(木)に予定していました歯科検診は、歯科医のご都合により、1月18日(木)に延期致します。

【園内カメラの設置について】

- 安心と安全の為、10月10日から10月12日の期間で園内カメラを設置します。
工事期間中は安全面に十分配慮しながら行います。
(詳細は9月28日配布のお知らせをご確認下さい。)
- ご理解、ご協力を宜しくお願いいたします。

<今月の10の姿>

【 5、社会生活との関わり 】

自分が役に立つ喜びを感じる。家族を大切にしようとする気持ちを持つこと。

(例)・親や祖父母など家族から愛されていることに気づき、家族を大切にしようとする。

- ・家族やいろいろな人と関わりながら、自分が役に立つ喜びを感じる。
- ・地域の人に親しみを持って関わる。
- ・遊びや生活に必要な情報を取り入れたり、情報に基づいて判断し取捨選択をして活用するようになる。
- ・公共施設を訪れ、共同の場所や物の使い方がわかり、大切に利用するようになる。

～各クラスの様子を紹介します～



～いちご組～



家族やお友達、身近な人との交流を通して保育士やお友達と関わる楽しさを感じ始めたいちご組の子ども達。まだ自分の好きな玩具等を思い思いに使い一人遊びが中心ですが、自分の使っていた玩具をどうぞと手渡し、お友達が喜びと自分のことのようにニコニコ笑顔で喜ぶ姿もあります。保育園の中で遊びながら、お互いを思い合う気持ちやお友達を大切にしようとする気持ちが育めるように、保育士がお友達とのやりとりを伝えながら関わるようにしています。

～つくし組～



一人遊びが主だったつくし組の子ども達も最近では、「〇〇くん(ちゃん)一緒に遊ぼう」とお友達を誘い一緒に遊ぶ姿が増えてきました。子ども同士のやりとりはとても微笑ましくかわいいです。時には玩具の取り合い等でぶつかり合いを経験しながらも、保育士や友達に親しみを持って関わり過ごしています。今後はクラスのお友達との関わりから他クラスのお友達へも関わりが広がり、どんどん子ども達の世界が広がっていくことでしょう。小さな子ども達にとって保育園での生活が社会生活との関わりそのものですね。

～たんぽぽ組～



熟年者交流会では、自分で作った「こま」や「竹とんぼ」で遊びました。自分で出来る姿を誇らしげに自慢したり、上手くいかない時は、おじいちゃん・おばあちゃんにお手伝いをしてもらったりと交流を楽しみました。また、「ジャンケン列車」にも挑戦!「脱線しないように安全運転でゆっくりね」と声を掛けると、しっかりとつかまって最後は一つの長い列車になりました。祖父母の方の優しさに触れたり思いやりながら、子ども達、そしておじいちゃん・おばあちゃんもみんなが笑顔になり元気をもらえた一日でした。

～すみれ組～



散歩に行くと公園では保育士が事前にゴミなど危険なものがないか見回りチェックしていますが、そんな保育士の姿を見ている子ども達は、公園で小さなゴミを見つけると子ども達同士で「危ないから捨てちゃダメなんだよ」「ねー」と話したり、お部屋でも紙くずやゴミが落ちていと進んで捨ててくれます。また、横断歩道では「手を上げて渡るんだよ」と話したり、白線の内側を歩こうと意識する姿が見られたりと、日々の保育の中でも社会生活との関わりを学んでいると感じています。

～のぎく組～



コロナで出来なかった事が少しずつ出来るようになり、行動範囲もぐんと広がったのぎく組。図書館や美術館へ訪問したり、お散歩で近隣の小学校の前を通り様子を見たりして地域を知り、親しみをを感じる機会を多く持っています。園内での異年齢児交流の中では小さいお友達に優しく接したり、手を差し伸べて一緒に遊んだりする姿も見られます。また、「何かお手伝いしたい!」と意欲的に布団敷きや砂場のおもちゃ洗い等する姿も見られ、人の役に立つ喜びを味わいながら達成感を感じているようです。